

データセンター空調機DCE-W型

自立制御を備え省エネ

チラーレス実
現する冷却塔
PUEとWUEを最適化

新晃工業

日本ビー・イー・シー

空調機器の総合メーカーW型(壁吹き型)を開発し、新晃工業(本社・大阪 全国展開を図っている。市北区、社長・末永聡 DE-W型の大きな特徴氏)は、中期経営計画はコントローラー・操作。ポイント組項目のひとつであるネル・動力盤・二方弁・セデータセンター(以下Dンサー類を組み込んだ自立C)市場へ注力するため、制御を備えている点でありDC事業部を二〇三年度り、中央監視との通信はに設立。GPUを搭載した Modus/BACnetに対応する高性能・高発熱サーバーが。ファンモーターは省工増加している中、要求され性能に優れたECファンる冷却能力も増加、顧客のを採用、製品本体メインフニースである大容量且つ高 レームにはファンレス、外機能を備えた製品としてデ 装、ネルにはガルバリウムータセンター空調機DE 鋼板を採用し塗装レスで環

境性にも配慮した製品である。

二〇二四年六月に稼働を開始した「総合実験棟」S

冷却塔が主役と言える。

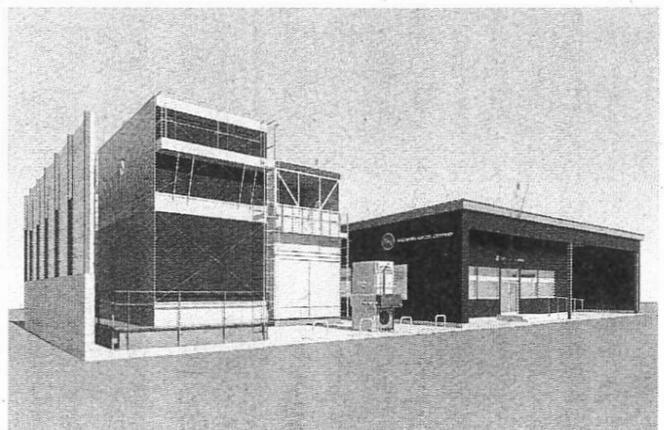
DCソリューションとして従来から販売している、下吹き型空調機・UPS/電気室用空調機・ヒートポンプ外調機など豊富なラインアップ製品群とともに拡販を目指す。

また、昨今のDCにおいては、動力の大きいチラーを用いず冷却塔のみで完結するチラーレスが大幅な省エネを実現する手段として主流になる見通しであり、まさにこれからのDCは冷却塔が主役と言える。



総合実験棟：SINKO AIR DEVELOPMENT LAB

新晃工業のグループ会社である日本ビー・イー・シー(本社・東京都世田谷区 社長・平石忠孝氏)は冷却塔業界で世界をリードする Baltimore Aircoil Companyの製品を日本国内で展開している。チラーレスシステムには高性能な冷却塔を要するため、著しい進化を遂げる海外規格の冷却塔が必須という状況である。日本ビー・イー・シーの冷却塔は、ハイブリッドクーラーに代表される省エネと節水によるPUE・WUEの最適化に加え、最小ア



DC・プラント向け冷却塔実機展示場を兼ねたメンテナンス・トレーニング施設 (2024年10月完成予定)

ブローチ(冷却水出口温度と圧倒的な放熱性能を有すー外気湿球温度)一・二℃る。国内事業者によるDC

アタワーフォロイ体制にも余念がない。

購読案内

03-5472-1170

においても高性能冷却塔を主役とするチラーレスシステム採用等により、海外大手DCに引けを取らない傾向にある。

二〇二四年十月には新晃工業神奈川工場にDC・プ

ラント向け冷却塔(高効率大型開放式冷却塔及びハイブリッドクーラー)の実機展示場を兼ねたメンテナンス・トレーニング施設が誕生し、新晃グループとして